

令和 7 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 19			学校名	県立つくば特別支援学校										学校長名		中村 千秋			
副校長名	菊池 秀之			教頭名	木村 祐美			教頭名		掛田 和久			事務（室）長名		速水 崇行					
教職員数	指導教諭	1	教諭	170	養護教諭	1	養護助教諭	1	栄養教諭	1	常勤講師	41	非常勤講師	9	実習助手	2	事務職員	5		
	SSS	3	学校用務員	1	指導看護職員	1	看護職員	14	介護員	3	調理員	9	学校医	8			計	275		
幼児・児童・生徒数	部		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	小学部		27	10	38	10	18	11	24	11	29	5	18	14	154	61	58			
	中学部		35	15	15	10	20	11							70	36	28			
	高等部		20	8	26	14	16	12							62	34	26			
														小計	286	131	112			
合計														417						

2 目指す学校像

- ◆安全・安心できれいな学校
- ◆一人一人の笑顔が輝く学校
- ◆地域とともに歩む学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・様々な障害のある児童生徒が在籍しており、一人一人の障害等の状況に応じた指導・支援の充実が求められている。 ・児童生徒数は引き続き増加傾向であり、安全・安心な学校づくりのため様々な対応が必要である。	・一人一人の障害等の状況に応じた指導の充実と安全安心な環境づくり。 ・児童生徒に対する丁寧な指導を大切にし、同時に教室配置・敷地の狭さ・防災関係、

	・教職員数は 260 名を超え、各職員が情報共有の大切さを十分に自覚し、お互いを尊重し支え合う意識を持ち職務に取り組む必要がある。 ・コンプライアンス研修全体計画を充実させ、全職員の人権意識の向上を図る。 ・地域との連携の充実や、AI を活用した業務削減を目指す。	今後の SB 増・施設設備老朽化への対応。 ・不適切な対応ゼロを目指す。
学習指導	・ICT を活用した授業実践はじめ、授業力の向上に全職員で取り組んでいる。 ・授業改善のため、育成を目指す資質・能力の三つの柱をふまえた年間指導計画及び個別の指導計画の作成等の研修や、他校授業参観等を行い、研修を深める。 ・校内外の専門家を活用した自立活動の充実を図る。	・ICT を活用した授業実践・研修の継続 ・育成を目指す資質・能力の三つの柱をふまえた年間指導計画及び個別の指導計画の充実 ・校内外の専門家との連携による自立活動の充実

4 中期的目標

1	主体的・対話的で深い学びの授業実践の進展⇒カリキュラムマネジメントの確立と次期学習指導要領に向けた教育課程の検討及び実施
2	安全で安心な教育環境・職場環境の整備 ⇒働き方改革の推進。コンプライアンス研修による人権意識の向上
3	地域とともに歩む学校としての支援力強化 ⇒コミュニティスクール等の実施による地域との連携

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 資質・能力をふまえた指導・支援の充実	① 主体的・対話的で深い学びへの授業改善 ② 生きる力を育む自立活動の充実 ③ ICT を活用した教育の推進
2 安全で安心な教育環境の整備	① 学校事故の未然防止とより安全な校内指導体制の検討 ② いじめや体罰を見逃さない学校環境の構築、コンプライアンス研修の充実 ③ 教育環境・職場環境の改善(働き方改革の推進・分掌部の会議時間等 1 割減)
3 自立と社会参加をめざす教育の充実	① 児童生徒一人一人の将来を見据えたキャリア教育の推進 ② 関係機関と連携した進路指導の充実 ③ スポーツ・文化活動をととした教育活動の推進
4 家庭・地域との連携	① 特別支援教育の地域連携体制の構築を促す情報発信 ② 主体的な PTA 活動の推進